

## 屋久島世界遺産地域科学委員会 ヤクシカ・ワーキンググループについて

### 1 ヤクシカ・ワーキンググループの設置の目的

厳正な保護を図るべき屋久島世界遺産地域においてヤクシカの採食等により森林の植生や希少植物の生育等に悪影響が出ていることから、世界遺産地域におけるヤクシカ被害について対策を講じるにあたり、科学的知見に基づいた助言を得ることを目的として、屋久島世界遺産地域科学委員会設置要綱第4条第5項に基づきヤクシカ・ワーキンググループを設置する。

### 2 ヤクシカ・ワーキンググループの構成

#### 【科学委員会委員】 5名

矢原 徹一	九州大学大学院理学研究院教授(座長)
吉良 今朝芳	鹿児島大学元教授(副座長)
荒田 洋一	樹木医(屋久島在住)
立澤 史郎	北海道大学大学院文学研究科助教
松田 裕之	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授

#### 【特別委員】 4名

手塚 賢至	ヤクタネゴヨウ調査隊代表(屋久島在住)
矢部 恒晶	森林総合研究所九州支所森林動物研究グループ長
濱崎 伸一郎	(株)野生動物保護管理事務所関西分室長
杉浦 秀樹	京都大学野生動物研究センター准教授

合計 9名

### 3 経緯等

平成22年7月28日 平成22年度第1回屋久島世界遺産地域科学委員会において、ヤクシカ・ワーキンググループの設置について承認

平成22年10月15日 第1回ヤクシカ・ワーキンググループ開催(鹿児島市)

平成22年12月22日 第2回ヤクシカ・ワーキンググループ開催(鹿児島市)

平成23年6月19日 第3回ヤクシカ・ワーキンググループ開催(鹿児島市)

平成23年12月17日 第4回ヤクシカ・ワーキンググループ開催(屋久島町)

平成24年6月21日 第5回ヤクシカ・ワーキンググループ開催(屋久島町)

平成25年2月21日 第6回ヤクシカ・ワーキンググループ開催(熊本市)

平成25年9月27日 第7回ヤクシカ・ワーキンググループ開催(屋久島町)

#### 4 平成24年度WG(第5、6回)の検討及び意見集約の概要

- ・地域別のヤクシカ対策について

地域によってヤクシカの生息密度と採食される植生による生態系への影響が異なることから、シカの移動が制限されるような河川を地区界とし検討し、地区ごとに設定した指標となる植生等への影響の度合いやその復元状態などを評価して、シカ捕獲等を検討することが重要。

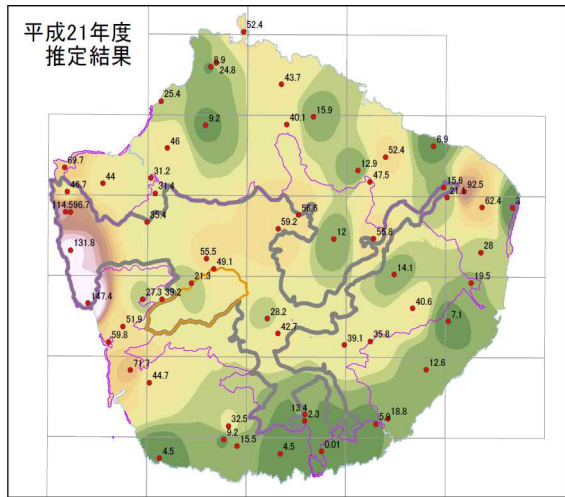
- ・植生等の保護・保全方策について

シカ被害対策は保護柵と捕獲とを組み合わせることで実施し、その効果をモニタリングすることが重要。

- ・ヤクシカの生息状況の確認

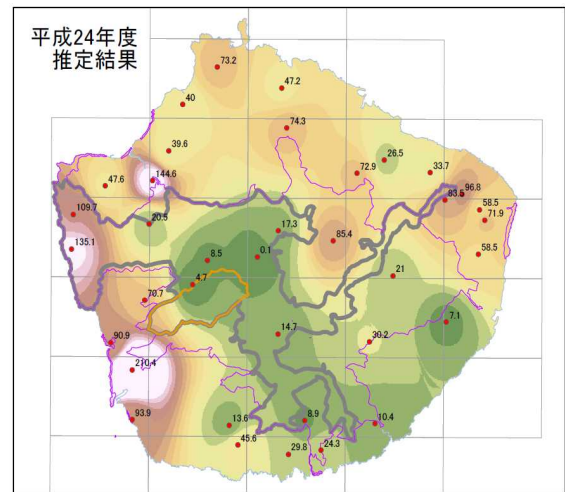
平成24年度ヤクシカの生息頭数は、平成20年度より増加しており、約1万9千頭と推定。全島の的に生息密度が増加しており、低密度だった南部での生態系被害が深刻化している。

#### ヤクシカの生息密度の推移



推定生息数 16,015 頭

出典：第6回ヤクシカWG環境省提出資料



推定生息数 18,677 頭

#### ヤクシカの捕獲数の推移

年度	有害捕獲等	狩猟	計
H20	205	114	319
H21	325	155	480
H22	1,698	250	1,948
H23	2,290	316	2,606
H24	3,816	714	4,530

#### 5 平成25年度の検討事項等

ヤクシカの個体数管理の現状と課題について

ヤクシカの捕獲シミュレーション等について

生態系管理の目標及びそのモニタリング手法の検討